

顎下腺摘出術手術を受けられる患者様へ（6 日間）

顎下腺摘出術パス〈良性〉【20020-01】

患者氏名		様 入院病棟		病棟	主治医	担当看護師	No1
月日	1 日目 (手術 1 日前)	2 日目 (手術日)	3 日目 (術後 1 日目)	4 日目 (術後 2 日目)	5 日目 (術後 3 日目)	6 日目 (退院日)	
目標 <small>毎日看護師と 評価します</small>	□治療の内容がわかる		□ドレーンからの排液が前日より増量しない				
	□入院生活、手術に ついてわかる □体温が正常である (38℃以下)	□傷の腫れがない			□退院後生活の注意点についてわかる □傷の自己管理ができる		
		□顔面神経麻痺（口角が下がるなど）の症状がない					
		□必要な時は痛み止めの薬を使用し、痛みが軽減でき					
		□ドレーン挿入中の注意点がわかり安全に取り扱いできる			□ドレーンが抜ける □抜糸ができる		
		□発熱がない（38℃以下）					
	□安静が守られている						
内服 注射	・ 抗生剤の点滴（1 日 2 回） ・ 術日は補液（5 時間程度）を実施します ・ 翌日以降は食事摂取状況に合わせて行うこともあります						
検査			・ 採血				
処置	・ 主治医から手術について説明があります ・ 麻酔科医、手術室看護師がお部屋に伺います		・ 毎朝 6 時にドレーン排液の測定を行います（排液の量が減ってくると、ドレーンが抜けます） ・ 9 時頃（休日は 9 時半）から病棟内の耳鼻科処置室で診察があります ・ 創部は透明なフィルムで保護しており、抜糸までそのままです ・ 抜糸 				
			・ 検温（1 日 3 回：術後 3 日目まで） 			・ 検温（1 日 1 回）	
食事 飲水	・ 絶飲食の時間をお伝えします	・ 手術後は許可が出たら、飲食ができるようになります 食事はお粥が出ます		・ 術後 2 日目より米飯に戻ります ・ 術後 2 日目以降もお粥を希望される方はお知らせください			
清潔	・ 浴室使用の時間については看護師からお伝えします	・ 手術日から術後 1 日目まではタオルで体を拭くことになり ます ※ドレーンが抜けないように看護師がお手伝いします		・ 看護師助成で洗髪ができます ・ 下半身シャワーに入ることができます ・ ドレーンが抜けたら全身シャワー浴ができます			
安静 活動	・ 院内自由 	・ 手術後、ベッドの頭側は少しあげておいた方が呼吸が楽にできます ・ トイレ・洗面以外はお部屋で安静に過ごしましょう		・ 術後 1 日目より院内自由			退院基準： □傷が開かず感染がない  □傷の手入れ方法がわかる
説明 指導	・ 手術後の起き上がり方、ドレーンチューブの取り扱いについて、看護師から説明します	《手術後》 ・ ベッドで手術室から帰ってきます・安静時間内（約 2～3 時間）は足に血栓ができるのを予防するためにフットポンプという機械を巻いています・また心電図モニターを装着させていただきます ・ 手術室から酸素マスクを付けて帰ってきます・手術後に麻酔科医師から酸素投与時間の指示が出るためご説明します ・ ドレーンが入っている間は、動く時、チューブが突っ張ったり、折れ曲がったりしないように注意しましょう ・ チューブには血液を貯める容器がついています・普段は、巾着に入れ、首からぶら下げ、パジャマにピンで止めます ・ 痛い、吐き気がする、息が苦しいなどの症状があれば、ナースコールでお知らせください					